

そろそろ蓋が開く



いま世界では色々なことが起きている。アメリカの一部の地域では南極よりも寒い日が続いているそう。CON排出規制協定から脱退を宣言した大統領は、「温暖化はどこに行つた？早く暑くして！」とTwitterしたそう。 「いやいや温暖化の影響だから・・・」と世界中から突っ込みを食らっている。

イギリスではEUからの離脱派と再合流派がしのぎを削っているが、議会はさておき一般アンケートではほぼ50・50であることが、事の深刻さを表しているように思う。

通貨をものにしなかつた大英帝国の誇りはわれわれ日本人にはなかなか理解できないと思われる。

また、昨今では中国、韓国の少子高齢化問題が徐々に日本メディアにも露出するようになってきている。

中国では「一人っ子政策は地球史上最悪の愚策」とまで言われているが、もはや取り返しはつかない。30年後が恐ろしい。一方、韓国は何といても北朝鮮が控えている。合併しないまでも国交正常化となれば韓国経済にとっては大きなメリットとなること間違い無し。

資源はある、男性比率が増え続ける地球上で唯一女性比率が増えていると聞いているし、何よりも北朝鮮には借金が無い。無いというより借金を作れない、という劇的な環境下でやってきた「強味」がある。

アメリカと北朝鮮が衝突しない限り、朝鮮半島は将来有望な経済圏ではないだろうか。

一方、環境面に目を向けるとマイクロプラスティックがやっと日本でも注目されつつありストローだったり、レジのビニール袋削減が取りざたされ始めてきているが、まだまだ意識は低いように思われる。

外国人から言わせると日本の町並みはきれいだと言う。ゴミが全く落ちていないと言い、GCMマーシャルでもECOという単語を連発して意識の高さを競っている。

ところが実際には仮想水ベース（輸入製品が出来上がるまでに要した水分量）の輸入量は圧倒的に世界一であるし、

食料に関しては
年間約 8,500トンの総量に対して
1,300トン、

つまり約15%を焼却・埋立しているのが、われわれ日本人である。

日本人とは相対的に穏やかで、従順な農耕民族であるが、目に見えないことには、とかく蓋をしたままにするのが得意な民族に思える。

何度となくお伝えしている現場で放置されている余剰生コン、総称して**残コン**（残った生コン）もその一つだ。工事現場では国交省の掛け声のもと、ゼロエミッションが叫ばれて久しい。実際、相当数が再利用されるようになり、むしろ残コンが残された最後のハードルになってきているように思われる。

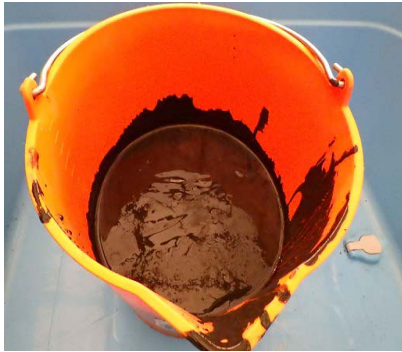
残コンが取り残された理由は幾つかの条件が重なったことであるが、要すれば表面化させて、処理方法と費用負担先を明確にすることが必要なプロセスであり、いずれ、そう遠くない時期に制度化されることであろう。我々がセルドロンの出番である。

セルドロン採用事例

■焼却炉でセルドロンが採用

この焼却施設では、廃棄物を焼却するときに発生する排ガスを冷却するために水を利用しておりました。その工程の中で発生してしまった汚泥を処理するために、何か流動性を低下させる材料がないか探していたようです。最初は、ポリマーのような材料で改質したようですが、陽イオンの問題からうまく流動性を低下させることが出来なかったようです。セルドロンは、物理的に水分を吸着いたしますので、汎用性が高く、どのような液体にも最適であることから採用されました。

現場からも改質状況が良くて、大変喜ばれておりました。今後も、このような現場では採用いただけそうです。



発生する汚泥



汚泥改質中



汚泥改質後

■軽量コンクリートの処理

軽量コンクリートは、高層マンションなどの建築の際に使用することで、建物の重量が軽くなると地震力や基礎への負担が減るといって採用されているようですが、余ってしまった残コンの処理に困るとのことでした。生コンプラントへ持ち帰りを行わず、現場で処理をしないといけないとのことでした。フレコンに入れて、混合廃棄物として処理していたとのことでした。硬化する前に、セルドロンを混合することにより、扱いやすくなります。その他にも、水中不分離コンクリートの処理にも困るようです。

セルドロン提案中案件

■案件その1 地下案件

地下トンネルや地下鉄などのスペースが限られている現場で、先送りのモルタルや配管に残ってしまった残コンを硬化させるまで養生しておくことが難しいと思います。セルドロンですぐに処理できることを提案中です。

■案件その2 階上案件

マンション建設の場合、上の階になるほど残コンの量が発生し処理が問題になっていると思います。大手ゼネコン様でも、残コンの扱いやすくなるということで採用が始まってきており同様の業者様に提案中です。

■案件その3 太陽光発電所の汚泥処理

太陽光発電所は、山の谷間に設置していることが多くあります。そのような場所なので、湿地帯で重機が入るときに困るときもあるようです。セルドロンで改良して重機が入れるようになることをメインにして提案中です。

■舗装の切断作業時に発生する排水(カッター水)

東京の恵比寿駅近くの道路工事でも、カッター水を垂れ流している状況でしたが、カッター水は産業廃棄物になります。路装を1m切断するとおおよそ1ℓの排水が出るようです。

そんな排水を処分しやすくするために、セルドロンを提案中です。

ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。